

□要請番号 (JL54518A26)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ウガンダ	A101 コミュニティ開発		グループ型	交替 2代目	2年	・2018/3・2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

地方自治省

2) 配属機関名 (日本語)

プランブリ県庁

3) 任地 (プランブリ県ムエンベ) JICA事務所の所在地 (カンパラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約5.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、プランブリ県(人口約13万人)における行政一般、開発事業を執り行う地方自治体である。県庁生産局は農村住民の所得向上・生活改善を目的に業務を行っており、農業課を含む6つの課を持つ。プランブリ県では、主食用作物としてバナナ、メイズ、イモ等が主に栽培されている。10年ほど前より、これまで利用されていなかった平地や湿地での稻作が広まり始めており、配属先は農家の所得向上を目的に換金作物としてコメの栽培を促進しており、同県ではコメを栽培する農家が増加している。現在、稻作普及を支援するコミュニティ開発の青年海外協力隊(JV)が1名派遣されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ウガンダでは近年、米の消費量が増大しており、配属先は稻作を通じた農家の所得向上がこれまで以上に期待できることから稻作普及に取り組んでいる。現在活動中のJV(農業経験なし)は、JICA専門家の助言を得ながら農家訪問を通じた稻作技術の情報提供や農家グループの育成に取り組んでいる。配属先は、同JVの活動が引き継がれ、食糧自給の安定、農家の所得向上が達成されることを期待し、後任を要請している。上司となる県農業課長は、日本での稻作に関するJICA研修に参加した経験を持つ。

2008年の東京アフリカ開発会議において、サブサハラアフリカの米生産を2018年までに倍増させることが目標に掲げられた。ウガンダにおいても食料安全保障、農家の所得向上のために更なる稻作振興が求められており、JICAは「コメ振興プロジェクト」の実施や、JVの複数派遣を通じて支援を行っている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

活動地域の人々の生活の現況・課題を把握するための基礎調査を実施し、支援対象となる住民・グループを定めて以下の活動を展開する。

- 1.農家同士の助け合いを促進する稻作農家グループの結成・運営支援
- 2.農家訪問やワークショップの開催を通じた稻作のより良い知識・技術の提供
- 3.米やその他の農産物の販路開拓(市場調査、卸・小売業者との関係構築など)

※ JICA専門家、派遣中の同系職種ボランティアから稻作の知識・技術について助言を受けることができる。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし

4) 配属先同僚及び活動対象者

生産局長 1名

生産局農業課長 1名

(生産局には畜産業、林業など多様な専門性を持つ同僚が約10名所属している)
配属先関係者や農業普及員から情報を収集しながら、農家や農家グループと共に活動を行う。

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等] : ()

[学歴] : () 備考 :

[性別] : () 備考 :

[経験] : () 備考 :

[参考情報] :

- セミナー・イベント等企画・実施の経験

任地での乗物利用の必要性

単車(小型自動二輪免許が必要)

【地域概況】

[気候] : (サバナ気候) 気温 : (15~30°C位)

[電気] : (不安定)

[通信] : (インターネット可 電話可)

[水源] : (不安定)

【特記事項】

【類似職種】